

はじめに 3
本書の使い方 10

CHAPTER 1 目に見えるように書く 13

- no.1 具体化①—アクション化する 14
- no.2 具体化②—リアクション化する 18
- no.3 具体化③—5W1Hを明示する 22
- no.4 具体化④—順序よく書く 26
- no.5 具体化⑤—文脈を示す 30
- no.6 主観と客観を分ける 34
- no.7 五感を使う 38

CHAPTER 2 イメージできるように書く 43

- no.1 質問①—質問の3つのパターン 44
- no.2 質問②—限定をかける&経験を聞く 48
- no.3 比喩①—直喩 52
- no.4 比喩②—隠喩 56
- no.5 比喩③—象徴 60
- no.6 比喩④—擬人化 64

CHAPTER 3 読みやすいように書く 69

- no.1 キーワード・フレーズを設定する 70
- no.2 キーセンテンスを設定する 74
- no.3 テーマとトピックを峻別する 78
- no.4 言いたいことをひとつに絞る 82
- no.5 接続語を活用する①—原因・理由 86
- no.6 接続語を活用する②—条件・譲歩 90
- no.7 接続語を活用する③—相関関係 94

CHAPTER 4 注意をひきつける 99

- no.1 時間軸をさかのぼる 100
- no.2 結起承転で語る 104
- no.3 類似点を示す 110
- no.4 相違点を示す 114
- no.5 数字を活用する 118
- no.6 「書く相手」をはっきりさせる 122
- no.7 敢えて毒舌で書く 126
- no.8 サプライズ—驚きの要素を入れる 130
- no.9 サスペンス—期待と裏切り 134
- no.10 一人称で書く—「私」を前面に出す 138
- no.11 二人称で書く—相手に向かってダイレクトにアピールする 142
- no.12 三人称で書く①—Iの多用を避ける 146
- no.13 三人称で書く②—パラレルアクション 150

CHAPTER 5 クリエイティブさをアピールする 155

- no.1 発想力①—常識の逆を行く 156
- no.2 発想力②—離れたものを結びつける 160
- no.3 視点を切り替える 164
- no.4 物事の両面を見る 168
- no.5 裏側を掘ってみる 172
- no.6 抽象する 176

CHAPTER 6 論理的に書く 181

- no.1 論理力①—論理性に一点集中する 182
- no.2 論理力②—選択肢を広げる 188
- no.3 構成力①—言い換え 192
- no.4 構成力②—コントラスト 196
- no.5 三段論法 202
- no.6 結論の位置 206
- no.7 的確に回答する 210

CHAPTER 7 読み手を尊重する 215

- no.1 疑問文にする 216
- no.2 仮定法 220
- no.3 「評価」をしない 224
- no.4 結論を省く 228

おわりに 233